

「YRPP情報通信 セキュリティ人材育成センター」開設へ

(株)横須賀テレコムリサーチパークでは、YRPPセンター1番館に「YRPP情報通信セキュリティ人材育成センター」を来たる平成17年3月10日に開設します。

我国においては、近年のインターネット利用や電子商取引市場の規模が拡大している一方で、コンピューターウイルスや不正アクセス等によるデータの改竄・破壊・個人情報漏洩等の被害が増加し、その対策が急務となっています。

これらに対応しうる高度なセキュリティ知識を有する人材が不足しているという背景のもと、総務省が平成16年度に新設した「情報通信セキュリティ人材育成センター開設支援事業」制度による補助を受け、その第一号として今回本センター

を開設するに至りました。

本セキュリティ人材育成事業の研修の特徴は、RRRT(Incident Response Rescue Recovery Training: アイトリプルアールティ)を基本コンセプトに、大規模研修設備を用いた実践を中心とする研修により、実践的保守運用スキルの修得及び情報セキュリティマネジメントの実践対応能力の向上を図ることです。

研修カリキュラムの構成は、「座学中心コース」(2日間)と「システム実習中心コース」(3日間)の5日間を基本とし、企業・団体の技術者や管理者を対象としています。「座学中心コース」は技術レイヤ向けと管理レイヤ向けの各基礎コース、「システム実習中心コース」はWebビジ

ネスサイトコースとイントラ・エクストラネットコースと、それぞれ2コースを用意しており、各1コースずつを選択しての受講となります。受講料は一人当たり40万円、コース定員25名の少人数制で、より実践に即した研修を行っていきます。

4月には個人情報保護法が施行されます。情報通信セキュリティの重要度、セキュリティ人材育成への期待は今後一層高まると考えられます。多くの方々の受講をお待ちしております。

お問い合わせ先
(株)横須賀テレコムリサーチパーク
YRPP情報通信セキュリティ人材育成センター事務局
(URL: <http://www.yrp-security.jp>)

3月10日開設予定

情報通信セキュリティ人材育成 センター促進協議会が発足 (略称: e-ST協議会)

平成16年12月15日に情報通信セキュリティ人材育成センター促進協議会が発足しました。

高度情報通信ネットワークにおけるセキュリティ確保のためには、セキュリティに関わる高度な技術やノウハウを有する人材の育成を図ることが急務かつ最優先課題となっています。

本協議会は、このような状況に鑑み、民間企業、大学・研究機関の有識者等の関係者が一体となって自由闊達な議論を

展開し、さらに政府への情報セキュリティ人材育成の提案・提言を行うことを目的に設立されました。

本協議会は、会長に東京大学の安田浩教授を迎え、技術部会と企画部会を設けてそれぞれ複数のワーキンググループのなかで検討を重ねていく予定です。



情報通信セキュリティ人材育成促進協議会 会長
東京大学 国際・産学協同研究センター長 安田浩教授による
ご講演の様子



オープニングセレモニーが実施されたパドヴァ大学

WPMC '04

国際移動通信シンポジウム

イタリアにて開催

2004年 9月 12日から 15日の 4日間、YRP 研究開発推進協会と独立行政法人 情報通信研究機構の主催により、イタリアのアパノ・テルメ市において WPMC2004(国際移動通信シンポジウム = International Symposium on Wireless Personal Multimedia Communications)が開催されました。

WPMCは 1998 年以降毎年開催されている無線通信と移動通信に関する国際研究集会で、今回はイタリア・パドヴァ大学の協力により、第 7 回目の開催です。今回の WPMC では、ガリレオ・ガリレイの出身校であるパドヴァ大学の記念講堂でオープニングセレモニーが行われ、総務省から参加した鬼頭達男技術総括審議官が基調講演を行いました。世界各国から約 400名が集まりました。

論文投稿総数は 414件、うち採択論文数は 322件であり、最も優秀とされた論文 5件(下記)が最終日に表彰を受けました。



オープニングセレモニーにおける羽鳥名誉会長の挨拶



総務省大臣官房 鬼頭達男技術総括審議官による基調講演



ポスターセッションの様子

優秀な論文として表彰を受けたもの(順不同)

1. Yasushi Takatori*, Koichi Tsunesawa*, Frank H.P. Fitzek**, Ramjee Prasad**,
"On the Exploitation of Multiple Access Points in a Wireless Single-Frequency-Network Using TDD-OFDM-MIMO Techniques"
*NTT Network Innovation Laboratories, Japan **Aalborg University, Denmark
2. Hidekazu Taoka, Takashi Kataoka, Kenichi Higuchi, Mamoru Sawahashi,
"Optimum Beam Generation Method of Adaptive Antenna Array Beam-Forming Transmitter for OFCDM Broadband Packet Wireless Access in Forward Link"
NTT DoCoMo, Inc.
3. Jose Marcos C. Brito, Ivan I.S. Bonatti,
"Comparing the performance of two different approaches to achieve QoS in wireless data networks that use Multi-carrier CDMA"
National Institute of Telecommunications, Brazil, State University of Campinas, Brazil

【Student award papers】

1. Nevio Benvenuto, Federico Boccardi, Giambattista Carnevale,
"A Frequency Domain Low-complexity Joint Detection Technique for TD-CDMA",
University of Padova, Italy
2. Katsuyuki Haneda*, Jun-ichi Takada*, Takehiko Kobayashi**,
"Double Directional LOS Channel Characterization in a Home Environment with Ultra Wideband Signal"
*Tokyo Institute of Technology, Japan, **Tokyo Denki University, Japan

ご視察 ご来訪

YRP企業見学会を実施

2004年 9月 22日、YRP研究開発推進協会の主催により企業見学会を実施しました。これは、7月 21日から 23日に東京ビッグサイトで開催されました「第 1回次世代ワイヤレス技術展」の YRPブースにお立ち寄りいただいた企業の皆様のご要望により実現しました。

当日は YRP内の各施設、研究所及び企業の説明と、見学が行われました。40企業・団体、74名の参加があり、活発な意見交換が行われました。



YRP企業見学会の様相

(財)国際開発高等教育機構による ご視察

2004年 9月 29日、我が国の対途上国経済協力に携わる人材を育成するために行われている、「国際開発プログラム」研修の一環として各国の大学院生が YRPを来訪しました。

YRPが発展してきた理由、背景、日本の技術開発力、及びこれからの展望等について研修が行われました。(株)横須賀テレコムリサーチパーク、横須賀市、早稲田大学国連 ITU研究センターの説明と、独立行政法人情報通信研究機構及び(株)NTTドコモ R&Dセンターの見学が行われました。



(財)国際開発高等教育機構による視察

中国齊魯ソフトウェアパーク ミッションによるご視察

中国山東省済南市の齊魯ソフトウェアパークミッションが来日され、2004年 10月 21日、YRPを視察されました。

齊魯ソフトウェアパークは中国国家ソフトウェア産業基地のひとつとして、済南ハイテクパークの中にあり、IT企業やソフトウェア企業が活躍しています。

今般、ミッションから YRP事業及び国際協調について関心があり訪問したいとの希望で、YRP並びに独立行政法人情報通信研究機構を見学されました。



中国ソフトウェアパークミッションによる視察

中国情報産業部 政策法規司 郭副司長御一行様によるご視察

今回の視察団のメンバーには、情報産業部政策法規司及び地方政府の情報産業主幹部門で政策業務を担当する官吏、中国電子情報産業発展研究員、情報産業部の電子情報所の情報産業政策研究専門家が含まれており、情報産業の発展に関わる日本の政策、措置、最新の動向を把握することを目的として、2004年 12月 20日、YRPと独立行政法人情報通信研究機構をご視察されました。



アジア各国から訪れた研修生



YRPセンター 1階館前にて記念撮影

第 5 回 APT 技術研修の開催

YRP研究開発推進協会は、APT(アジア・太平洋電気通信共同体)からの委託を受け、我が国のAPT特別拠出金により実施される本技術研修を2001年度から毎年実施しています。

今年度は、2004年11月9日から16日の8日間、YRPにおいて実施しました。バングラデシュ、インド、中国、インドネシア、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パラオ、パプアニューギニア、フィリピン、タイ、ベトナムの12の加盟国の通信主管庁や通信事業者関係者が12名、研修生として来日し、YRPに深い関係の深い大学教授や進出研究機関関係者による

次世代移動体通信技術関連の講義を受けました。期間中には、研修生による総務省及び横須賀市への表敬訪問のほか、カントリーレポート発表会が行われ、研修生により自国の通信事業の現況が紹介されました。

またYRP研究開発推進協会では、研修生に日本文化を身近に体験していただきたいと考え、週末には横須賀国際交流協会の協力を得て、一般ボランティア家庭を数時間訪問するホームビジットプログラムをオプションにて毎年実施しています。今回も11名の参加があり、参加者からは好評を博していました。



ワークショップ参加者記念撮影

スウェーデン・日本 2 国間ワークショップの開催

2004年9月17日、スウェーデンのルンド市郊外において同国イノベーション庁(VNNOVA)とYRP研究開発推進協会の共催により、「スウェーデン・日本2国間ワークショップ」が開催されました。

これは、YRPと研究交流の覚書(MOU)に調印したルンド工科大学、スウェーデン王立工科大学、ブレッキング工科大学、イデオン・サイエンスパーク、シースタ・サイエンスパークとの連携事業として実

施されたものです。

プログラムのコーディネートは京都大学の吉田進教授のご尽力により行われました。日本からは5大学の教授が参加されるとともに、YRP研究開発推進協会の5会員から講師が派遣されました。両国の参加者から充実した内容のワークショップであったと評価されました。



活発な議論が交わされたワークショップ

フィンランド・日本ワークショップの開催

2004年11月25日、フィンランド技術庁(TEKES)と独立行政法人情報通信研究機構及びYRP研究開発推進協会の共催により、フィンランドNETS(NETS: Network of the Future)の活動を紹介するワークショップ「Future of Wireless Communications Technologies」がYRPにて開催されました。

プログラムコーディネートを、YRP研究開発推進協会アドバイザー会議の副議長を務めておられる、広島国際大学

の森永規彦教授にお願いし、フィンランド側のプレゼンテーションに対して日本側質問者が質問をするという形で、このワークショップは進められました。フィンランド側・日本側合わせて約70名が参加し、活発な議論が交わされ、有意義なワークショップとなりました。

ユビキタスネットワーク研究開発シンポジウムの開催

2005年2月7日、東京・霞ヶ関の東海大学校友会館において、「ユビキタスネットワーク研究開発シンポジウム～モバイルとデジタル放送の連携による新たなビジネス展開～」が、YRP研究開発推進協会と独立行政法人情報通信研究機構（NICT）の主催により、（財）テレコム先端技術支援センターの協賛、総務省等の後援を得て開催され、240名の参加がありました。

最初に、YRP研究開発推進協会の 穂 昭男会長より YRPの取り組みについて説明が行われ、その後、総務省官房 鬼頭達男技術総括審議官と NICT 塩

見 正理事よりそれぞれ基調講演が行われました。

パネルディスカッションでは、「ユビキタスネットワーク時代における、モバイル、デジタル放送の連携による新たなビジネス展開」をテーマに、YRP研究開発推進協会の羽鳥光俊名誉会長がコーディネータを務め、下記のメンバーをパネリストに迎えて活発なディスカッションが行われました。

フロアとの質疑応答も活発に行われ、ユビキタス社会やモバイルとデジタル放送技術の連携についての関心の高さがうかがわれました。

< 講演及びパネルディスカッション >

基調講演 総務省官房 鬼頭達男 官房技術総括審議官
「ユビキタスネットワーク社会に向けた研究開発政策」
NICT 塩見 正 理事
「ユビキタス社会実現に向けた NICTの研究開発について」

パネルディスカッション ・コーディネータ：YRP研究開発推進協会 羽鳥光俊 名誉会長
・パネリスト：日本放送協会 放送技術研究所 久保田啓一 次長
(株)NTTドコモ ワイヤレス研究所 正村達郎 所長
KDDI(株) 伊藤泰彦 取締役執行役員専務
ボーダフォン(株) 五十嵐善夫 常務執行役員
日本電気(株) 古谷之綱 主席技師長



YRP研究開発推進協会 穂 昭男会長による YRPの取り組みについてのプレゼンテーション



満員の会場内



パネルディスカッション/パネリストの旨様

日中フォーラム訪中団及び総会の開催

日・中移動体通信技術フォーラムは、2004年11月19日から22日の4日間、第7回訪問団を中国・北京に派遣しました。今回の訪中期間中には、中国政府におけるハイテク関連の大規模プロジェクトである、中国国家863計画B3G/3Gグループとの交流を目的として「中日B3G専門家セミナー」が実施され、日中専門家及び行政担当者によるプレゼン

テーションとともに、活発な意見交換が行われました。中国側からは23名、日本側からは31名の参加がありました。

また、12月6日には日中移動体通信技術フォーラムの2004年度総会が開催され、多大の成果を得て終了するとともに、それを踏まえて内容を拡充した日中CT技術フォーラムが設立されました。



訪中団の記念撮影

株式会社 YRP事業開発研究所設立記念式典

2004年9月2日、虎ノ門パストラルにて株式会社 YRP事業開発研究所の設立に関する報道発表並びに記念式典が実施されました。

株式会社 YRP事業開発研究所とは、様々な新技術や産学官連携を生み出している YRPをより多くの企業に活用い

ただくために、事業法人と社会貢献の両スタンスを兼ね備える、新しいコンセプトのもとに誕生したものです。

報道発表会では、YRP創造新技術の市場創出事業、高齢者・児童福祉コールセンター事業、インフラ整備事業など、今後の展開について説明があり

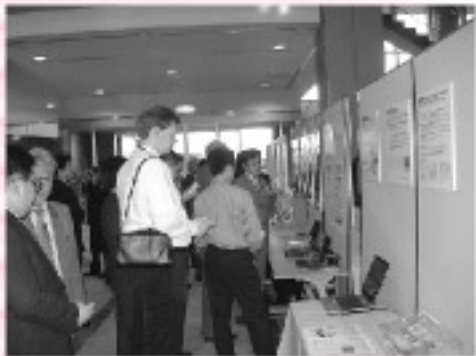
ました。出席した報道関係者からはたくさんの質問が寄せられ、翌日以降は新聞・雑誌8紙(誌)に掲載されました。

YRP事業開発研究所については、ホームページ
(URL: <http://www.yrp-bdi.co.jp>)にて詳細をご覧ください。

新世代モバイル共同研究説明会を開催

2004年 9月 3日、新世代モバイル研究開発プロジェクトに関する共同研究説明会が YRPホールで開催されました。YRP研究開発推進協会会員の独立行政法人情報通信研究機構より、「新世代モバイルネットワークの新コンセプト MRA+ネットワークの構築」と「メディ

ア独立ハンドオーバー (MHO) 技術の研究」について共同研究の提案が行われました。当日は 32機関、50名の参加があり、6機関より共同研究への参加申込みがありました。その後、これら 6機関で、共同研究に向けて詳細の検討が進められています。



YRP ITSコミュニケーションズ ワールド 2004

ITS Japan テクニカルツアー 「YRP ITSコミュニケーションズ ワールド 2004」を開催

2004年 10月 15日、「YRP ITSコミュニケーションズワールド 2004」を実施しました。これは、同月 18日から 22日まで、ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)で開催された『第 11回 ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004』への参加者を対象に企画されたテクニカルツアーです。

ある警視庁交通管制センターを見学し、バスにて YRP へ移動の後、午後はミリ波帯を用いた次世代超高速通信をターゲットにした路車間通信、車々間通信、EV-DOの無線 LANによる中継、携帯電話によるナビゲーションシステム等の展示及び実演を見学しました。

このツアーには、海外から 6名を含む 22名の参加者があり、午前は西新橋に

また、YRPでの展示会は一般の方々にも公開され、多くの来場者がありました。



ベンチャー棟ホールで行われた YRPテクニカルフェスタ@ Venture

YRPテクニカルフェスタ@ Ventureを開催

2004年 12月 2日、YRPベンチャー棟にて「YRPテクニカルフェスタ@ Venture」を開催しました。これは、ベンチャー棟に進出している企業・大学と YRP研究開発推進協会会員、一般参加企業の実行委員会(23企業、大学、団体)により、YRP内の技術交流を深めることをコンセプトとして実施したものです。

ベンチャー棟 1F・2Fに各ブースを設置し、出展者により日頃の研究開発や機器の展示、デモが行われました。イベント終了後の親睦会では新しい産学官ビジネススタイル、デザインが語り合われました。



横須賀商工会議所 ITフェアにおける出展

ITフェア・イン・Yokosukaに参加

2004年 10月 16日と 17日の 2日間、横須賀商工会議所において、「ITフェア・イン・Yokosuka」が開催され、YRP研究開発推進協会および(株)横須賀テレコムリサーチパークは出展者として参加しました。

パークにおいては、3月に開設予定の「情報通信セキュリティ人材育成センター」7月から開催し好評いただいている「YRP情報通信技術研修」、市民の皆様親しみの深い「パソコン教室」のご案内を展示しました。

YRP研究開発推進協会においては、救急医療ワーキンググループの検討状況を、また(株)横須賀テレコムリサーチ

横須賀商工会議所によると、2日間合わせて約 2,000名の来訪者があり、会場は大変な賑わいとなりました。

高臨場感遠隔講義、YRPから富山へ

～富山県立大学 工学部 次世代情報通信グループ 計算機工学講座～

10月1日、22日、11月19日の3日間、富山県立大学工学部 次世代情報通信グループ 計算機工学講座により、YRP内にあるサテライトオフィスから富山県立大学へ向けた高臨場感遠隔講義が実施されました。

当該研究室では、遠隔地間における高臨場感コミュニケーションシステム構築技術について研究しています。その応用成果として、最先端の技術者を講師に迎え、今回の講義が実施される運びとなりました。

ネットワークは光無線（建物間通信）回線～JGN回線～マルチネット（富

山地域ネット）により接続されています。帯域は100Mbpsで、高品質MPEG2映像を伝送し大画面に表示することにより、高臨場感を実現しています。

講義内容は、電子情報に関する様々なテーマについて、毎回異なる内容であり、YRPからは電磁波や無線、音声処理、コミュニケーションに関する内容などについて行われました。3年前にYRPに研究室を設置して以降、年3回のペースで実施しています。

今後もこのような遠隔講義を継続して実施する予定です。



講師側（YRP側）



学生側（富山県立大学側）



YRPユビキタス・ネットワーキング研究所よりお知らせ〔第6回〕

第21回トロンプロジェクトシンポジウム トロンショー 2005に参加

2004年12月7日から9日の3日間、東京国際フォーラムで「第21回トロンプロジェクトシンポジウム トロンショー 2005」が、T-Engineフォーラムと社団法人トロン協会の主催により開催されました。この催しに、(株)横須賀テレコムリサーチパークは特別協賛として参加しました。

小さなRFIDタグをあらゆる場所につけて状況認識(Context Awareness)を自動化するユビキタス・コンピューティングが世界的に注目されつつある昨今、その環境を実現するためのインフラストラクチャ構築を推進するため2002年にT-Engineフォーラムが設立されました。以来、T-Engineフォーラムではユビキタス・コンピューティングのための組込み用OSであるT-kernelの公開や、運営のためのユビキタスDセンターの設立を行ってきました。これらの活動は多くの賛同により、現在500近い会員になっています。

今回の「トロンショー 2005」では、「誰でもできるユビキタス」として、数々の実証実験実例を紹介するとともに、ユビ

キタスDセンターによる実証実験のサポート制度「EAP(Experimental Activity Procedure)制度」が紹介されました。

出展社は40を数え、どのブースにおいても興味深い展示がなされました。

また、具体的な相談が可能なコーナーを設けるなど、多くの方にユビキタス・コンピューティング環境を活用していただけるよう実証機会を広めたいという考えを前面に出したものとなりました。

さらにアジアパビリオンを設け、組込みシステム開発力を世界に供給する重要なエリアとして注目され、実際にT-Engine開発センターやユビキタスDセンターを設立している中国や韓国、シンガポールなどにおける活動状況が紹介されました。

また例年同様、コンピュータによるハンディキャップサポートを考えるTRONイネーブルウェアシンポジウム「TEP2005」も、「自律的移動支援」のテーマのもとに共催されました。

4日間合計で約9,000人の来場者を数え、



ユビキタスネットワーキング研究所の出展ブース



食品トレーサビリティシステムの展示

政府関係者・各省庁・海外からの視察者数は1,000人を超えるなど、ユビキタス社会への関心の高さがうかがえる催しとなりました。

「トロンショー 2006」は、2005年12月に開催が決定しています。更なる技術の飛躍が見られることでしょう。



「YRP情報通信技術研修」の様相

昨年7月から、(株)横須賀テレコムリサーチパークでは技術者の皆様のスキルアップを応援すべく「YRP情報通信技術セミナー」を開催しています。各技術分野の第一人者を全国から招聘し、体系的なカリキュラムと対話を重視した少人数制のゼミナル形式で行い、毎回受講者の皆様より好評を博しています。

様々なコースをご用意して皆様のご参加をお待ちしています。詳細なスケジュールにつきましては、YRPのホームページ (http://www.yrp.co.jp/company/service/yrp/annual_skd.htm) をご覧ください。



2月24日～25日に行われた講義の様子
(「誤り訂正符号の理論」井坂元彦教授(関西学院大学)による)



「YRPパソコン教室」の様相

YRPでは、横須賀市民等一般の方々を対象にパソコン教室を開催しています。毎月、ワードやエクセルなどについて、初心者から更なるスキルアップを目指す方々までが多く集まり、アットホームな雰囲気の中で学んでいます。

少人数制であるため講師の方とのコミュニケーションも良好で、わかりやすくしっかり習得できると好評をいただいています。

毎月1日発行の「広報よこすか」にて募集をご案内していますので、ご家族やお友達等ご興味のある方にぜひご紹介ください。



2月に実施された「パソコン教室-ワード入門」の授業風景

駅伝大会

イベント報告

2004年11月13日、秋晴れのもと、毎年恒例の「YRP駅伝大会」が開催されました。当日はYRP進出企業等より12チームが参加、パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)所属の「ジョグ・ザウルス」が約12キロのコースを39分30秒で快走し優勝しました。なお、準優勝は、パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)の「ジョグ・新撰組」、3位は京浜急行電鉄(株)の「京急乗務区駅伝部」でした。

快走する参加者の様子



優勝した「ジョグ・ザウルス」

クリスマス会

イベント報告

2004年12月9日、YRPの冬の恒例行事としてすっかり定着した「YRPクリスマス会」を開催しました。今回のスペシャルゲストは、女性デュオパフォーマンス「Fairly Tab」。今流行の、マジックにパントマイムを組み合わせたファンタスティックなステージで、観客を大いに沸かせました。

また、YRPにお勤めの方々の参加によるゲームアトラクション「Q診断クイズ」では珍答が続出!! 最後には、豪華商品の当たるビンゴ大会が行われ、熱気は最高潮に達しました。今回も大盛況のうちに幕を閉じたクリスマス会、就業者の方々や近隣の皆様にはひと足早いクリスマスムードを楽しんでいただきました。



Fairly Tabによるパフォーマンス



大盛況の会場の様子

イベントスケジュール

3月8日

ITU-Waseda CTセンター(無線通信センター)開所式
ITU無線通信局 局長 Vabry Timofeev氏参加により開催されます。

3月10日

YRP情報通信セキュリティ人材育成センター
オープニング式典
YRPにおいて開催予定

3月21日

救急支援ブロードバンド無線ネットワーク伝送
公開実証実験 デモンストレーション
横浜市立大学医学部ヘボンホール(福浦キャンパス)
にて公開予定
YRP研究開発推進協会、独立行政法人情報通信研究機構、
横浜市立大学医学部整形外科学講座の主催および、関東総合通信局、横須賀市、(株)横須賀テレコムリサーチパークの後援によるものです。

6月15日～16日

第7回 YRP移動体通信産学官交流シンポジウム 2005
YRPにおいて開催予定

6月27日～29日

第5回 ITS情報通信国際ワークショップ
(ITST2005)
フランス・ブレストにおいて開催予定
このワークショップは、YRP研究開発推進協会・独立行政法人情報通信研究機構が主催するものです。
詳しくは、<http://conferences.enst-bretagne.fr/itst2005/> をご覧ください。

特にURLの記載がないものについては、順次 YRPのホームページ (<http://www.yrp.co.jp>) にて最新情報をお知らせする予定です。

【編集・発行】

YRP研究開発推進協会
株 横須賀テレコムリサーチパーク

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL: 046-847-5008 FAX: 046-847-5010
〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL: 046-847-5000 FAX: 046-847-5010

<http://www.yrp.co.jp/>